

ONSA ニュース

No. 28-2

第 35 回みんなのくらしと放射線展	1
第 68 回 UV/EB 研究会聴講記	3
平成 30 年度第 1 回見学会「島津製作所創業記念資料館 及び本社展示場」見学記	10
第 66 回放射線科学研究会聴講記	11
平成 30 年度 9 月からの ONSA 行事予定	18
ペルチェ冷却式高性能霧箱のご案内	19

一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会
〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-3-27
TEL : 06-6282-3350, FAX : 06-6282-3351
e-mail : onsa-ofc@nifty.com
URL : <http://onsa.g.dgdg.jp>
発行 : 平成 30 年 9 月

第 35 回みんなのくらしと放射線展

第35回みんなのくらしと放射線展は、8月3日（金）から5日（日）の3日間、大阪科学技術センターで開催された。これは、これからの社会を担う子供たちやその家族の皆さんに、色々な放射線がくらしの中の様々な分野で利用されていることを紹介し、さらには、子供たちの理系離れが言われる昨今、科学技術への興味を喚起する機会を提供することを目的とするものである。本放射線展は、大阪府立大学研究推進機構及びONSAを含む9団体で構成される「みんなのくらしと放射線」知識普及実行委員会が主催し、文部科学省や大阪府等の公的機関と大阪科学技術センターの後援により、毎年、子供たちの夏休み期間中に開催されているものである。今年は、例年以上の高温状態が続く酷暑の中での開催であったが、多くの人たちに集まっていただき、盛況のうちに終えることができた。ここでは、その様子の一部を紹介する。

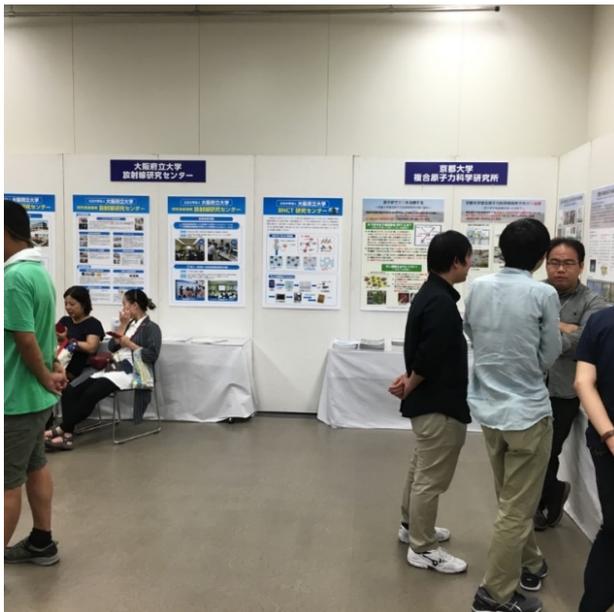


写真1 「関西の原子力・放射線研究施設」の展示パネル。



写真2 「食品に用いる放射線」の展示パネル。

放射線展では「放射線なぞときラリー」、「放射線ビンゴ大会」、「放射線〇×クイズ大会」、「科学工作教室」など、子供たちが楽しみながら放射線を学べる企画が盛りだくさん用意されていて、大勢の子供たちや家族の皆さんに楽しんでいただいた。また「ハイスクール放射線サマークラス」等の催しが行われた。さらに、展示ゾーンでは、「関西の原子力・放射線研究施設」のパネル（写真1）や、JAXA提供の宇宙開発に関する展示物などが設置された。科学工作教室では霧箱工作等が行われた。写真2は、展示ゾーンの1つである食品に用いる放射線に関する展示物である。写真3には、府立大のスタッフに率いられた子供たちが放射線展示ガイドツアーを行う様子が示されている。



写真3 放射線展示ガイドツアーの様子。



写真4 初日終了後の古田専門部会長の挨拶。

初日は午後からの開催にも関わらず、すでに多くの参加者に集まっていただき、専門部会長の大阪府立大学古田教授も、初日が終了したときのスタッフへの挨拶で、思わず笑みがこぼれていたようである（写真4）。

最終日に行われた放射線サマークラスには9校が参加して、放射線に関して研究した成果を学校対抗の形で発表した。その様子を写真5に示す。各発表に対して大阪府立大学の諸先生方の講評があった。最優秀賞を関西学院千里国際高等部が、審査委員特別賞を福井県立若狭高等学校が、奨励賞を京都府立桃山高等学校が授賞した。大阪府立大学の山手副学長も参加し、全ての発表を聴講され、最後に全体の総評を述べられた。今年は例年以上に気温が高く、特に子供たちの野外での放射線測定で熱中症などが心配されたが、短時間でしかも日陰での作業という配慮をしたこともあり、無事に終えることができた。このような試みは全国的にもあまり例がない。今回は放射線展35周年との事であるが、放射線の理解と普及のために、今後さらに末永く継続されることを期待したい。



写真5 ハイスクール放射線サマークラスの様子。

(岩瀬彰宏 記)